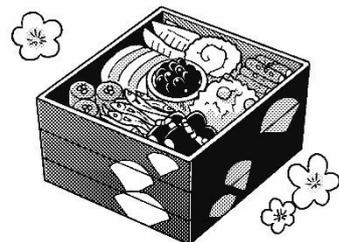


1月 給食だより

年末年始は、大人も子どもも夜更かしや朝寝坊をしてしまいがちです。寒くて布団から出るのがつらい季節ですが、『早起き・早寝・朝ごはん』で生活リズムをくずさないように過ごしましょう。

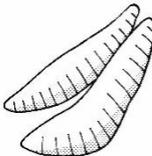
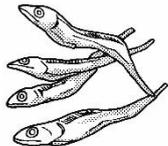
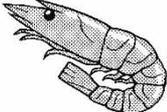
正月に食べるおせち料理

おせち料理は、もともと旧暦の季節の変わり目の「節日」に神様に供えて、それを家族で食べるものでした。本来は五節句（人日、上巳、端午、七夕、長陽）の時のものですが、のちに正月の料理だけを指すようになりました。



©少年写真新聞社2023

おせち料理の意味や込められた願い

<p>黒豆</p> <p>「まめ」は丈夫を意味し、健康に暮らせるようにという願いが込められています。</p> 	<p>数の子</p> <p>にしんの卵はたくさんの数があることから、子孫繁栄の願いが込められています。</p> 	<p>田づくり</p> <p>カタクチウシを肥料として田畑にまいて豊作になったことから、五穀豊穰を願っています。</p> 
<p>えび</p> <p>えびのように腰が曲がるまで長生きできるようにという願いが込められています。</p> 	<p>こぶ巻き</p> <p>よろ「こぶ」の言葉にかけた、縁起物です。</p> 	<p>きんとん</p> <p>「金団」と書き、財宝に見立てて、豊かな1年を願ったもとのいわれます。</p> 

1月24日～30日は 全国学校給食週間



学校給食の始まりは？

学校給食は、明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちへ無償で昼食を出したのが始まりとされています。献立は塩さけ、おにぎり、漬物といわれます。その後、全国各地に広まりました。

学校給食の役割は？

現在の学校給食は、栄養バランスのとれた食事、成長期にある子どもたちの健全な成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。